



「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第128号をお届けします。2進数で表記すると、「第10000000号」で記念号となりますが、スルーしましょう。

【1】8月一研開催報告

8/24(木)～25(金)に、函館高専で開催されました。一般講演が20件、チュートリアル講演が1件、IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演1件の合計22件の発表がありました。チュートリアル講演は、会場をお世話いただいた函館高専の丸山珠美先生に「函館高専学生によるワイヤレス電力伝送、に関する研究」というタイトルでご講演いただきました。高専ならではのユニークな試みなどを熱く語っていただきました。また、学生さんもデモを頑張っていました。



続き、IEEE AP-S特別講演では、同校の小林淳哉先生から「菜の花の酵母で酒を醸す～函館の地酒開発～」というタイトルでご講演いただきました。お酒が大好きなAP研の方々には大変興味深い内容だったと思います。地酒に寄せる地元からの熱い期待に応えるべく、専門外の地酒づくりにチャレンジされた奮闘記をユーモアたっぷりに語っていただきました。生みの親でもなかなか手に入らない「特別ラベル菜の花酵母」付きのお酒を、丸山先生の特別なコネクションによりご提供いただきました。先生方、ありがとうございました。

【2】AWS-5開催報告

9/11(月)に、東工大大田町でAWS-5「ミリ波平面アンテナの実際」が開催されました。近年、ミリ波は多くのユースケースが期待されており、幅広い分野からの66名の聴講がありました。広川先生に、ミリ波を取り扱う際の留意点から、設計思想、実際の設計・試作例も含めて盛りだくさんの内容で講演いただきました。大好評で、事前に申込みを打ち切ったため、再開も検討中です。今回、受講できなかった方、期待しててください。



【3】BWS-2開催報告

9/19(火)に、東工大大岡山でBWS-2「アンテナ・無線システムのための線形代数」が開催され、約40名の受講者がありました。今回は、学生さんなどの若手の方々が多かったのですが、今回は多くのシニアの方々にもご参加いただきました。菊間先生に、「北斗の拳」や「健康診断」などを例えにしてわかりやすく解説いただきました。今回は、テキストなしの開催形態で実施されましたが、将来的にテキスト執筆にも強い意欲をお持ちとのこと...楽しみにお待ちしております。

【4】二研研AMT研一般講演・チュートリアルワークショップ開催案内

AMT研は測定に特化した技術ディスカッションをするAP研主催の二研研です。施設見学・チュートリアル講演、一般公募講演の3本立てで開催されるともアクティブな研究会です。開催地選びにもこだわりがあり、遠隔地での開催ながらこれまでに多くの聴講者を集めて開催されています。今年の下期のAMT研は、恒例の離島シリーズ(^_^)ではなく、国際会議CAMAのプレ大会を兼ねて上記で開催されます。多くの方のご参加をお待ちしております。離島シリーズはまた来年?!でしょうか。詳細は、AP研HPで。

- ・10/24(火) 一般講演
- ・10/25(水) チュートリアルワークショップ 「Sパラメータ法入門 ～平衡アンテナの測定法～(笹森先生)」
- ・産業技術総合研究所 つくば中央 共用講堂2F 大会議室

【5】 今後の一種研開催案内

今回は、11/8(水)~10(金)にRCS研と併催で福岡大にて開催されます。大盛況で、3日開催です。「最新のMIMO技術オーガナイズドセッション」が企画されています。12月は年末恒例の機械振興会館です。片木孝至先生の追悼講演を予定しています。上期の各種表彰式もありますので、是非、ご参加ください。

【6】はたらくおじさん「論文委員会編」

論文委員会はAP研の論文関係に関して執行部をサポートする組織です。主に、和文論文誌(JB)・英文論文誌(EB)特集号の企画、大会の企画、論文誌再編集号の作成、大会プログラム編成などを審議・運営しています。現在募集している、AP研関連の特集号は、1/9(火)締切の2018年JB小特集、2/15(木)締切のISAP2017 EB小特集が企画されています。また、これらの特集号に掲載される優れた論文に対して表彰を行う予定です。皆様の投稿をお待ちしております。

また、2013年度より、総大、ソ大から、査読付の論文投稿件数向上の一環として、発表および内容が優秀な方に、信学会へのレターの投稿(JB, ComEX) もしくはその内容をさらに発展させた論文の投稿(JB, EB)を推薦する制度を実施しています。2015年9月のソ大より、「大会よりも詳しい内容の講演を聞きたい」、「質疑応答の時間をもっと設けて幅広く議論したい」という要望のあった発表に対して、AP研一種研への投稿を推薦しています。ご要望等ございましたら、論文委員会執行部またはAP研執行部へご連絡ください。

現在、準備中の大会企画としては、2018年3月総大で「コネクテッドカーを支えるアンテナ・伝搬技術」を企画しています。オーガナイザのNTTドコモの工藤様、名工大の榊原先生、よろしくお願いいたします。また、英語セッションも継続して企画していますので、投稿をお願いいたします。

【7】副委員長の戯言「アンテナのある風景」

先日、ある懇親会でアジアテイストな麦酒を味わいました。いわゆる300Kの麦酒です。居合わせた先生曰く、「麦酒は常温で、一番味の違いが判るものだ」と。なんとというポジティブシンキング!! 私は、自分の小ささを痛感しました。その後、2次会に行ったのですが、迷わず「冷たい麦酒、ください!!」と叫んでいました。アジア各国に限らず、麦酒は常温で飲むことが多いようです。冷たさにこだわるのは日本だけでしょうか。

【Q&A】今回はタイトル通りに「アンテナのある風景」です。よく見るテレビ送信鉄塔なのですが、国内で唯一といえる特徴を持っています。さて、このテレビ送信鉄塔の特徴は何でしょうか?

- ①回転台付きで水平指向性が可変の鉄塔。
- ②テレビ用アンテナとラジオ用アンテナの共用鉄塔。
- ③電気チルト・機械チルトの複合チルトが可能な鉄塔。

(前回の答え。実際に起こらなかったのは、①AKB総選挙の日程と被った、です。②GLAYのコンサートは2013年、前回の函館一種研で起こりました。通常的一种研は木、木金、水木金開催ですが、宿泊手配の困難が想定されたため火水木に変更されています。一方、③日本外科学会の方は、2008年5月長崎一種研で起こりました。3月の総大の時に5月長崎市の宿が取れないことが分かり大騒ぎとなりました。調べてみると、日本外科学会の大会が同一日程で開催されていて、長崎市内の宿は殆どが抑えられていたようです。恐るべし、お医者様業界。ということで、代案として同じ長崎県内の佐世保高専に変更して実施されました。こちらには私も参加しましたが、実家からバスで通ったAP研はこれが初めてでした。

さて、精査中でした国内研究会最東端ですが、顧問を始め多くの方々にヒアリングしたところ、「北見工大」ということになりました。最北・南・西端は厳しいですが、最東端記録更新の余地は十分に残されています。これからの幹事の皆様、是非チャレンジください。楽しみにしています。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 山口 良 (ソフトバンク)

E-mail: ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)

AP-NET: AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP: <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

